

(別紙3)

事業所名 グループホームさくらがおか

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	避難経路の一つとしていたホーム東側に住宅が建設されているため経路が限られている。消防署による助言を受け経路の確保と各階毎の避難誘導方法の見直し及び被災時の業務継続計画(BPC)策定を行う。	所轄消防署へ相談し助言を受け避難計画を新たに作成する。火災とその他の災害に対して被害を最小限に留められるよう業務継続計画(BPC)を策定する。	所轄消防署から指導・助言を基に避難方法と避難経路について再検討を行う。特に夜間帯を想定した訓練と非常用脱出シューターを使用した訓練の実施と被災時の業務継続計画(BPC)を策定する。 12ヶ月
2	13	火災・災害発生時における地域社会との連携	災害発生時後の復旧活動は、自らの復旧が困難な事態が想定される。地域の方々から協力・支援も必要であること踏まえて相互協力関係を構築する。	自治会(自主防災組織)・消防団・民生委員等と連携を図り災害時の協力体制を構築する。地域行事の参加によって住民へグループホームさくらがおかを知って頂くことで地域社会の一員として協力関係を構築する。 12ヶ月
3	6	コロナ禍による面会の制限とご家族様からの意見・要望の反映について	新たな面会方法の導入と意見・要望の聴取と反映	面会は徐々に再開しているが、対面以外の方法としてSNSツール(LINE・ZOOM)などを活用しオンラインでの面会方法を導入。併せて、ご家族様からの意見・要望の聴取にも活用することで運営に反映する。 8ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月